

第 19 回高知県がん対策推進協議会 議事録要旨

1. 日時 平成 27 年 9 月 10 日 (木) 19:00~20:50
2. 場所 県庁 2 階 第 2 応接室
3. 出席者 協議会委員 15 名 (3 名欠席)、事務局 4 名
4. 議事 (1) 第 2 期高知県がん対策推進計画の取組について
(2) 全国がん登録について
(3) 平成 27 年度患者満足度等調査について

5. 議事概要

会長の議事進行により、以下の事項について、事務局及び参加委員から資料について説明が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

≪ (1) 第 2 期高知県がん対策推進計画について ≫

①資料 1 P2 がん検診の受診促進

肺がん検診受診率 50%目標の対象年齢について質問があり、事務局から国は 40 歳から 69 歳としているが、高知県は壮年期の死亡率の減少ということから、40 歳代・50 歳代としているとの説明があった。

②資料 1 P4 6. がん登録の推進

生存確認調査のデータの母数について質問があり、事務局から、高知県がん登録室に報告のあった患者データであるとの説明があった。

③資料 2

高知大学医学部附属病院の報告に関し、医科歯科連携の実績について質問があり、小林委員から、担当科と連絡は取っているが具体的な件数は把握していないとの説明があった。

≪ (2) 全国がん登録について ≫

(なし)

≪ (3) 平成 27 年度患者満足度等調査について ≫

- ・調査期間について、調査票の回収件数の状況で延長するのではなく、毎回同じ期間にした方が良いとの意見があった。調査時期について、8 月は医師も夏休みを取ることと、お盆の時期には患者さんの受診も少ないことから、今後、検討してはどうかとの意見があった。また、回収件数を決めてはどうかとの意見があった。今後の検討課題とする。

≪ (4) その他 ≫

- ・化学療法・手術療法・放射線療法を専門とする医師の育成について、高知県の現状について質問があった。高知大学医学部での医師の育成システムや中・四国の現状を小林委員、西岡委員が説明を行った。
- ・入院中の痛みのある患者さんに対して、病院内ではどのようなシステムで緩和ケアにつなげているのかとの質問があった。主治医へ相談をして緩和ケアへつなげるシステムやがん相談員からの連絡、看護師からの紹介等の方法があることが複数の委員から説明有。

以上をもって議事全部を終了、20 時 50 分に閉会。